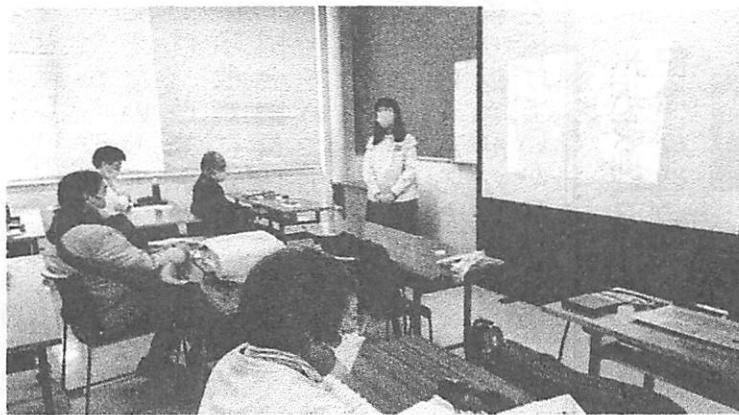


米沢支部「3・15、4・16
念」学習会 3月30日、置賜総合文化センター（2頁参照）



「戦争する国づくり」をさせないために、対話と共同を広げよう

国賠同盟県本部会長 白根澤 澄子

2023年の日本のGDP（国内総生産）は、ドイツに抜かれて世界4位になりました。一人当たりのGDPはドイツ世界20位、日本は32位です。ドイツの労働者は猛烈に働いているのかといえば、そうではありません。ドイツでは残業しても残業手当が出ないので、みんなが定時で帰宅し、長期休暇を取ります。日本はどうでしょうか。残業が当たり前、非正規雇用が4割にもなり、多くの労働者が低賃金長時間労働を強いられています。GDPの半分以上を占める個人消費が伸びず、日本は賃金が上がらない国、経済成長しない国になってしまいます。岸田政権は正規雇用を増やし賃金を上げて個人消費を増やすという当然の政策をとるのではなく、「防衛力を抜本的に強化して経済成長の好

循環を生み出す」と、軍拡による経済成長を図ろうとしています。軍事予算は2年間で2・5兆円増やし、米国製長距離ミサイルトマホークの購入400発を決め、イスラエル製無人攻撃機の購入を検討するなど日本は世界6位の武器輸入大国になっています。イギリス・イタリアとともに共同開発する次期戦闘機は、海外に輸出することを決めました。

「戦争放棄、戦力不保持」の憲法9条との整合性を図るために、歴代政権は専守防衛に徹すると、「防衛費GDP1%程度」「攻撃型兵器は保有しない」「武器の供給源にならず、武器の売買で利益を得ない」などの内容を決めました。その内容は、解釈改憲で、安倍政権に始まり岸田政権で、ことごとく破られてきています。それでも9条には（2頁へ続く）

「不屈」No. 598付録
山形県版 No. 416
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

山形県本部
〒994-0073
天童市寺津263
瀬野幸男方
TEL. FAX.
023-654-3255

功をめざす【会員拡大特別期間（4／1～6／30）】
支部目標の達成に全力で取り組もう！
署名 西村山支部・支部目標達成！
すべての会員の皆さん 国会請願（5月15日）に向け、
さらに「5筆、10筆」と届けてください。全国大会成

まだ力があります。自衛隊は軍隊ではないことになっているので、簡単には海外に派兵できません。攻撃されてもいいのに戦闘に参加することも難しいのです。

だから改憲派は何としても9条を変えたいのです。国会の憲法審査会では、改憲派が9条改憲・緊急事態条項改憲に進む「導入口改憲」として国会議員任期延長改憲でまとまっています。軍事大国、戦争する日本で喜ぶのは財界やアメリカです。国民は自由・権利を奪われ、がまんを強いられるだけです。戦争国家を繰り返させないために、対話と共同を広げていかなければと思います。



米沢支部「3・15、4・16弾圧記念」学習会

米沢支部長 鈴木 淳子

3月30日、置賜総合

文化センターでDVD

「自由はこうして奪われた—治安維持法十万人の記録」を使用し同盟以外の方も3人加わ

り、13人の参加で支部学習会を行いました。今回の学習会は今年度米沢支部に迎えたお二人に治安維持法の実態を知つてもらうことを目的に二人が出席できる日を設定して実施しました。

治安維持法は、ロシア革命や日本国内で生活改善をもとめる労働争議や小作争議が頻発していくことに危機感を覚えた政府が、当初共産党の取り締まりを目的としたものに「目的遂行罪」を加え一般の人々を巻き込んだものになつていつたことが番組では証言やデータで語られています。DVD視聴後、各自自己紹介をしながら感想を出し合いました。

連載

山形のたたかいと抵抗の歴史(3)

山形県における治安維持法下の運動と弾圧の概要

★連載の表題を「山形のたたかいと抵抗の歴史」に変更します。

「米沢共産党事件」

(1) 1930年「第一次

米沢共産党事件」

1928(昭3)年の「3・15事件」、翌年の「4・16事件」によつて、米沢・置賜地方で発展しつつあつた労

働運動(「米沢合同労働組合」)や農民運動、青年運動(全日本無産青年同盟)は大きなダメージを受けた。しかし、その状況下でも1929(昭4)年7月頃、日本共産青年同盟

(共青)米沢支局が結成された。その中心メンバーは1927年に無産青年同盟に入り、労働者の中で活動していた小山清、大正末期に米沢商業社会科学研究会で活動し、東京に就職したが帰京した清水田弘毅、東洋大学を中退し米沢に帰った木村辰雄、米沢高等工業高校卒業後上京したが仕事が見つからず帰郷した情野義秀、そして同じ米沢高等工業学校出身の塩川源吾の5名だった。共青米沢支局は、人絹班、街頭班(市民、文化)、農村班、学生班、連絡係を設けた。彼らは「無産者新聞」「戦旗」の学習やモップル(弾圧犠牲者の救援)の活動、またプロレタリア文化運動と結合し、組織・運動の拡大を図った。中央との機関紙連絡者に当時法政大学の花角四郎(戦後、米沢市議会議員)があたつたという。

1930(昭5)年7月、東京でプロレタリア演劇に関わったとされる丹昇が米沢に帰郷したのを契機に、共青文化班は、仲間や演劇愛好者を集め「黎明座」という劇団を組織する。劇団員は女性を含めて二十数名で、稽古や演劇研究のほかに、「戦旗」などを使用した勉強会などを行ない、一方で、「日本プロレタリア演劇同盟(プロット)」の加盟をめざしていた。

当初、劇団は同年9月1日の松岬(まつがさき)神社の祭礼を期して、旗揚げ公演を神社近くの「松岬劇場」(注1)での開催を目標にラインハルトゲーリング原作『海賊』や金子洋文の『盜電』、村山友義の『莫迦の治療』、ナンセンス寸劇『生き馬の目を抜く』の四種類を練習していたが、やがて多くの脱落者を出し、最終的に約十名余で活動することになった。一方『海賊』が再三にわたり脚本検閲をうけたため、旗揚げ公演が延期となり、結局9月4日に公演を行うことになった。結局、最大の見せ物である『海賊』は中止となり、残りの三種を公演することになった。9月4日午後8時からの「松岬劇場」での公演は、警察官24名の警戒の中、市民や青年など満員盛況であった。しかし、その一週間後の9月11日未明、一斉検挙が行われた。このと

で、稽古や演劇研究のほかに、「戦旗」などを使用した勉強会などを行めたために、その日の「米沢新聞」は「米沢地方の空前の某重大事件起きた」とだけ報じ、具体的な内容を載せられなかつた。

警察は2カ月にわたり黎明座関連の人物、共青同盟員と周辺の人たち83名の取り調べを行つた。そして10月17日、清水田弘毅、小山清、木村辰雄、情野義秀、塩川源吾の5名を治安維持法違反で起訴した。高山寛一、丹昇、鏡至、磯貝貞夫を書類送検に。また、高梨浩、金子義雄、石井安治、町田豊勝、渋谷信一、片桐常吉、武田幸太郎、町田三郎、種村吉次郎、女性の鈴木のり、松村さだ、渡辺みつ、板垣まさ、横山しげ、斎藤ゆき、佐藤すずえ等が取り調べられた。

警察当局がここまで取り調べが激しかつたのは、遡ること1926(大正15)年12月4日に米沢市五色温泉の宗川旅館で「日本共産党」の第三回大会が行われたことに気づかず、1928(昭3)年になつてわかり検挙できなかつたことに対する焦りがあつ

たとされている。

記事が解禁となつたのは翌1931年5月になつてからである。5月

などの娯楽に使用され市民にとうて憩いの場であった。

(2) 1933年「第二次米沢共産党事件」

20日、「米沢新聞」は警察発表の「米沢共産党事件」として両面を使つて大々的に報じた。記事は彼らを「劇に入としたあはずれ女七名」「彼等をめぐる紅い恋・三角関係の争い」などとセンセーショナル、スキャンダラスに事件を煽つた。大正デモクラシーの影響を受けた女性の社会進出に対する風潮と、共産主義運動をイメージダウンさせ、労働運動の活動にダメージを与えるようするものだつた。1932年4月、山形地方裁判所から「目的遂行罪」で塩川は懲役1年6ヶ月・執行猶予1年、清水田、小山、木村、情野の4名は懲役2年・執行猶予2年の判決が言い渡された。

(注1)「松岬劇場」1919(大8)年4月18日米沢市門東町に開館。翌年には尾崎行雄をむかえての「政談演説会」、「米沢労友会」の発会式が行われるなど様々な政治活動の演説会や集会、「演劇」や「音楽会」、「活動写真」

遂行罪で起訴され2年間の懲役・獄中生活をおくる。

この二つの弾圧、警察の針小棒大の発表によつて米沢地方に衝撃が走り、この地方の社会運動は壊滅したといわれる。(栗田晃二)

哀悼 今野和子さん

西置賜支部長 青木慶一

長年に亘り、署名運動の先頭に立たれた今野和子さんが、三月二十八日、小国町立病院で逝去されました。

満九十歳でした。

去る二月十九日、腹部の異常を訴えて、公立置賜病院に入院し、三月二十五日、小国町立病院に転院したばかりでした。

今野さんは、基督教独立学園高校初代校長鈴木彌美氏の長女として一九三三年誕生しました。生後間もなく叶水に一家で移住し、国民学校五年生の一九四四(昭和十九)年六月、父が治安維持法違反容疑で山形警察署に勾留される体験をしました。この体験が、国賠運動に心血を注ぐ原点でした。「県版不屈」等に多くの

お悔み

謹んでご冥福をお祈り
いたします

米沢支部

我妻秀行さん

3月15日死亡 93歳

西置賜支部

今野和子さん
3月28日死亡 90歳

寄稿があり、鈴木彌美氏の体験を広く知らせました。

また、二〇一七年（平成二十九）には、小国町議会への「国への意見書提出を求める請願」で、請願者となり、紹介議員の人選、議会の傍聴などに取り組み、請願採択に大きく貢献されました。翌年の置賜三地区合同「鈴木彌美顕彰ツアーハ」では、父彌美について詳しく紹介し、学園の裏山にある納骨堂へも案内してくださいました。

この度の入院中も、個人署名を呼びかけられました。まさに心血を注いで、運動に取り組まれた姿勢を、私達は、偉大な手本として、今後の活動に生かさなければなりません。今野和子さん、長い間、ご苦労様でした。あなたの思いを、引き継いで活動に取り組むことをお誓いします。どうぞゆっくりお休みください。



治安維持法体制復活反対の声を上げよう

横浜市大川原化工機株式会社が生産物兵器の製造に転用可能な噴霧乾燥機を経済産業省の許可を得ず不正輸出したとして、2020年3月に社長ら47人が警視庁公安部から取調べを受け3人が起訴された。1年近くも勾留、その間体調を崩して1人が死亡。しかし、この事件は、初公判直前に検察が起訴を取り消すという冤罪事件であった。戦前の治安維持法下の弾圧を想起させる。

戦前、侵略戦争を推進するために、軍事・戦争に関して国民の目・耳・口をふさぐ弾圧立法・治安立法がたくさんつくられた。治安維持法はそ

の中心的な役割をはたした。安倍政権の時、国民の反対を押し切って強行された「特定秘密保護法」「共謀罪法」などにより、国民全体が公安機による監視体制下に置かれることになった。大川原化工機会社冤罪事件は、今国会で審議中の「経済秘密保護法」の先取り事件と言えよう。

「戦争する国」づくりを進める安倍政権以降、强行成立された憲法違反の弾圧立法は戦前の治安維持法体制の復活である。「再び戦争と暗黒政治を許さない」ために闘っている国賠同盟は、これら弾圧立法の學習を深め、廃止の先頭に立たねばならないと思う。

（瀬野幸男）

第77回解放運動無名戦士合葬者（山形県）

伊藤 てる 104 全日本自労県本部委員長、国賠同盟県本部役員

遠藤 祝 95 農村労働組合の結成・委員長、生涯語り部活動

大川 和弘 65 医労連庄内医生協理事、国民救援会支部役員

川崎 利夫 90 天童市で考古学、県歴教協会会長等歴任
後藤 太刀味 78 共産党山形県委員会書記長・県委員長を歴任
齋藤 陽子 91 共産党酒田市議3期、地域住民の要求実現

笠山 一夫 80 鶴岡市職労役員 17年、
共産党山形県議 3期

志釜 譲司 84 本間病院労組執行委
員長を務め労働運動
活動に参加
志釜トシ子 79 酒田市で政治革新の
活動に参加
須藤 誠一 91 山大農学部教授、社会
進歩・労働分野で活動

高山 淑子 83 酒田地区金融共闘青
年婦人部で活動

長谷川桃子 78 鶴岡市で平和運動、政
治革新の運動
長谷川亮 70 鶴岡民商役員、自然保
護活動、政治革新活動
丸谷 緑 90 酒田親子劇場の創立に
参加、政治革新の活動

三浦 科子 86 新日本婦人の会酒田支
部や政治革新の活動
柳本 栄子 73 新婦人、政治革新の活
動、赤旗鶴岡分局5年

短歌

—故佐藤欣哉先生に捧ぐ

抗いて抗いてなを避けわし多喜二千代子に羞ざる道は
透徹な意志の力ぞ八十路軽トラック駆りて赤旗配る

天童支部 石垣 葉子

上山支部 橋本 直樹

上山支部 菊池 喜英

「有事だよ全員集合」のポスターを作るより先平和の努力を
丁寧な説明と言う言葉はもう聞き飽きた政府答弁

「不屈」読みこの涙は何青森の集会感想明日はと誓い
過去は見ぬ現実(いま)も横にと追いやりて明日を語る自民の欺瞞

2024年 3月の支部ごとの到達点 2024/3/31現在

支部	山形	鶴岡田川	酒田	天童	米沢	上山	西村山	北村山	東置賜	西置賜	新庄	県本部計
個人署名	目標	2200	1200	960	500	1000	200	500	500	650	400	— 8500
	到達	748	850	609	250	339	162	541	237	130	120	10 3996
団体署名	目標	50	60	50	20	30	5	50	20	50	10	— 350
	到達	11	50	22	6	13	1	128	12	6	2	1 252
会員	目標	90	60	60	25	25	10	40	20	34	21	— 400
	到達	73	50	45	18	23	7	36	15	33	16	6 322